

第81回

直方文化財散歩・記念碑巡り
教育者秦夜雨先生の墓

明治の教育者秦夜雨

秦巖（夜雨は号）は小倉藩士の子に生まれ、幼少の頃から漢学を学び秀才の誉れが高かったのですが、仕官を嫌って出家し後に還俗して儒教を究めました。

明治三（1870）年に新入村の青柳丈一郎ら有志の招きに応じて村で私塾明善堂を開いて塾長に就任しましたが、各地から入学者が多く盛況を呈しました。

明治十（1877）年に懇願されて感田小学校の第二代校長に就任しました。

直方での小学校の発足

明治五（1872）年に太政官布告として学制が制定され、直方でも相次いで小学校が設立されました。

明治五年 上境（現福地）

明治六年 下境、新入

明治七年 感田、植木、頓野

明治八年 直方南、直方北

明治十七（1884）年 中泉

昭和に入ってから設立は昭和二四（1949）年 直方西
昭和五六（1981）年 直方東
合計十一校で現在に至っています。

文章家としての秦夜雨

漢学の深い学識から記念碑の撰文の依頼が多く、直方市内では山部の随専寺墓地内にある山名聴説碑、上境の岡森堰再築碑などが残されています。

秦夜雨先生の墓碑

下新入の真照寺（浄土真宗本願寺派）の本堂南側の墓地内に自然石の墓碑が高い台座の上にあります。

感田小学校校長退任後も私学教育の道歩んで大正四（1915）年に八三歳の生涯を閉じ、真照寺に葬られました。

この墓碑は大正十三（1924）年に私塾明善堂の門人有志によって建立されました。

経年による老朽化が進んだため、平成五（1993）年に秦家の曾孫など近親者により修復されました。墓碑の表面には「秦夜雨先生の墓」裏面には生涯が刻まれています。

右側面には建立と修復の経緯が記

されています。

明治時代の教育を知る文化財です。



秦夜雨先生の墓・右側面
（新入・真照寺墓地内）



秦夜雨先生の墓・裏面
（新入・真照寺墓地内）



秦夜雨先生の墓・表面
（新入・真照寺墓地内）

直方の歴史と文化

文 桧 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ
推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,035 人（－315） ■世帯数 27,404 世帯（＋88）
[うち外国人 582 人]

男 26,429 人（－198）
女 29,606 人（－117）

令和 3 年 10 月末現在
（ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月 1 日（月 1 回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT

インターネット 情報提供サービス

SNS やウェブサイトでは様々
な情報発信を行っています。
ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで